

ROTARY : Making a Difference

ローター: 変化をもたらす

2017~18年度年度

国際ローター会長 Ian H.S.Risely



東京麹町ロータークラブ

50周年祝賀会まであと 315日

本日の例会プログラム
第4回例会 2017.7.31 (#2173)

納涼会

会場:スカイツリー・「634」

前回の報告

第3回例会 2017.7.24 (#2172) 会場:舞の間

例会ホスト・紹介係 蔵本君 会費係 鄭君

受付 藤谷君 後藤君

司会者 藺君 ソングリーダー 齊藤君

卓話「ガバナー公式訪問基調講演」

第2580地区 ガバナー 吉田 雅敏氏

(東京新都心 RC)

会長報告

- 1) 本日は、ガバナー公式訪問日です。早朝より、吉田ガバナーをはじめ椿原ガバナー補佐・浅川地区副幹事・清水分区幹事・飯田分区副幹事にお越し戴き貴重なお話を伺いました。その後各委員長の皆様とのクラブ協議会にて意見交換を行いました。皆様有り難うございました。
- 2) 米山記念奨学会より、須藤会員に米山功労者・メジャードナー(100万円到達)のバッジが届いております。皆様には、毎年1万円の普通寄付を行っておりますが、特別寄付も宜しくお願い致します。
- 3) 福島南 RC より、8/9 開催の納涼会の御案内が来ております。是非ご参加下さい

幹事報告

- 1) 例会終了後、国際奉仕委員会が開催されます。股、夕刻より、あり方検討委員会がございます。先日もお願いいたしましたとおり、各委員会は期首早々、委員会を開催していただき、活動内容などの情報を共有して下さい。
- 2) 福島南RCより、納涼会へのお誘いがありました。8/9(水)18:30~ ご参加下さる方はお申出下さい。
- 3) 福島産直品の購入をご希望の方は、本日中に、御代を添えてお申込ください。
- 4) 来週は、納涼会です。お昼間の例会はございません。4F の入り口フロアレストラン専用カウンターへ起こして下さい。

例会記録

会員総数	47名	出席会員数	40名
ゲスト	5名	その他	1名
ビジター	6名	事務局	2名
海外ビジター	1名	出席率	86.96%

7月3日 Make-up 後の

出席率 89.36%

【今週のMU状況】

乳井会員(7/26 お茶の水RC)

ニコニコボックス

久保田会員: 吉田ガバナーをはじめ、皆様、早朝よりご参加いただきありがとうございました

荘村会員: ガバナー訪問。お越しいただきありがとうございました。

秋山会員: 久保田会長、本年も宜しく。慰労会でられず、すみません。

若林会員: ガバナーご一行様。本日はお疲れ様です。

次回予告

第5回例会 2017.8.21 (#2174)

会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 保科君

受付係 内田君 地引君

会費係 秋山君

司会者 福田君

ソングリーダー 浅野君

卓話「木村奈穂さん帰国報告
各委員長挨拶」

荒川会員増強・秋山会員選考・木寅会報雑誌
佐藤 R 情報・澤本健康管理・齊藤ソングリーダー

8月7日は休日週の為、休会。8月14日は夏休みです。
次回例会は8月21日となります。

ビル・ゲイツ氏、ポリオ撲滅まで最後の一押しを強調



～ロータリー国際大会の基調講演者がポリオ撲滅の歴史的な闘いにスポットを当て、ポリオをゼロにするための課題を語りました～

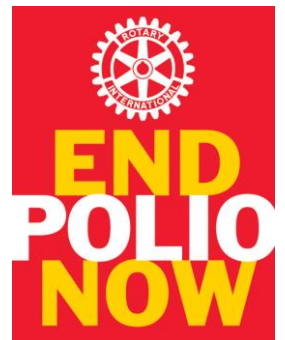
6月12日にロータリー国際大会で講演したビル・ゲイツ氏は、ポリオのない世界に向けた大きな進歩と今後の課題を強調しました。

米国ジョージア州アトランタのジョージア・ワールド・コンgressセンターにて、ゲイツ氏は、LED ブレスレットを着用した 22,000 人以上の観衆に向け、ポリオ症例をゼロにするための努力を続けなければならないと訴えました。**ビル&メリンダ・ゲイツ財団**の共同会長であるゲイツ氏は、**世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)**を「世界でこれまでに行われた最も野心的な公衆衛生の取り組み」とし、これまでの歴史的マイルストーンを振り返りました。各地域のポリオフリー宣言を含め、マイルストーンごとに、会場の各セクションで LED ブレスレットが点灯。ブレスレットを着用した出席者もプレゼンテーションの一部となりました。

全世界でこの麻痺疾患を撲滅するため、革新的かつ先見的な役割を果たしてきたロータリーに感謝する、とゲイツ氏。「ロータリーは、揺るぎない目標意識そして全身全霊で力を注げば何でもやり遂げられるという信念でポリオ撲滅の基盤を築いてきました」GPEIの取り組みが始まって以来、ポリオ症例は年に約 35 万件から 99.9%減と驚異的に減少。いまだ野生型ポリオウイルスが常在するのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの 3 カ国のみです。これまでの撲滅活動がなければポリオを患ったであろう 1600 万人以上が、今日、麻痺の影響を受けずに歩くことができると指摘。「これほどの活動努力は驚異的」とゲイツ氏は付け加えました。「ポリオ撲滅は私が最も多くの時間を費やしていることであり、毎日、新しい発症例があるかどうかをメールでチェックしています。私は、この大きな活動の一部であることを誇りに、そして光栄に思います」「新しいアイデアを生み出し、教訓を学び、新しい状況に適応していったこそ、ポリオをゼロにできると確信している」とアトランタでのロータリー国際大会で講演するゲイツ氏。

同日の本会議の直前、世界各国の指導者がゲイツ財団とロータリーに加わり、ポリオ撲滅を達成するために GPEI が見積もる活動不足金 15 億ドルを補うため、新たな**寄付誓約**を発表しました。ロータリーは、寄付目標を年間 5000 万ドルに引き上げると発表。ゲイツ財団とロータリーは 2007 年に協力を開始して以来、ポリオ撲滅に向けてともに約 15 億ドルを提供しています。

ポリオ撲滅を過去 10 年間の最優先課題としてきたと話すゲイツ氏は、現在もポリオが発症している紛争地域において未だに課題が残っていることを認識しています。「最も困難なことの一つは、一人残らずすべての子どもたちにポリオワクチンを届けること。しかし、紛争地域ではあらゆる関係者と信頼を築くことが難しく、予防接種が容易には進みません」しかし、依然として紛争問題を抱えるアフガニスタンにはほとんどウイルスがないことを指摘。「ポリオを撲滅する唯一の方法は、政治的、宗教的、社会的な分裂を超えて協力すること。ポリオ撲滅活動の支援者がその説得を続けてきたからこそ、今、成果が表れています」発症数がかつてないほど少ない一方で、ウイルスのサーベイランス(監視)と検出が困難になっています。「ウイルスを完全に食い止めるには、どこに隠れているのかを知る必要がある」とゲイツ氏。「新しいアイデアを生み出し、教訓を学び、新しい状況に適応していったこそ、ポリオをゼロにできると確信しています」



ポリオ撲滅活動に触発されたイノベーションは、ほかの世界的な健康キャンペーンに幅広い利益をもたらすことができる、とゲイツ氏。地域調査、病気の監視、医療従事者の役割拡大などの技術は、保健当局がエボラのようなほかの感染症を検出して緊急対応するのにも役立ちます。「それこそ、ロータリーの 30 年にわたる闘いで大きく期待が持てることです。皆さんは、史上最悪の疾病の一つを撲滅するだけではありません。最貧国が市民により良い健康とより良い未来を提供するのも支援しているのです」

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	久保田智也	FAX:03-3263-9122
幹事	荘村 明彦	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	木寅 雅之	URL: www.koujimachi-rc.jp